

Robotics Report

新たな常識のはじまり

アジアで急増する「介護ロボット」需要 ～世界をリードする日本勢

nikko am
fund academy



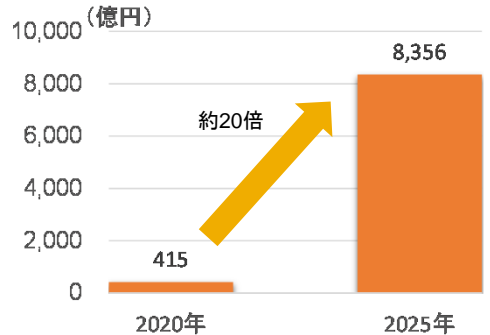
最近、サービスロボット市場全体の伸びが期待されていますが、中でも介護ロボットへの期待が高まっているようです。介護ロボットの開発・製品化は、日本が得意とする分野であり、今後、日本メーカーは世界の市場で大きなアドバンテージを得る可能性があります。そこで、今回は介護ロボット市場の展望を探ってみたいと思います。

■ 高齢化が進む日本、介護ロボットの活用が喫緊の課題

経済産業省は、日本では2010～25年の15年間で65歳以上の高齢者は約709万人増加する一方、介護職員は2012年の170万人が25年には250万人にまで必要になるとして、介護現場の人材不足への対応を課題としてあげています。これに対して、政府はロボット介護機器の開発や導入促進を図るために補助金を出すなど、介護ロボットなどの普及を全面的に後押ししています。

日本における介護ロボットなど(自立支援機器)の市場規模は、25年までに約8,356億円になるとの予測(右図)もあり、成長が期待されます。すでに、サイバーダインの自立支援用の「ロボットスーツHAL」や、理化学研究所と住友理工が共同研究している介護支援ロボット「ROBEAR」、村田製作所などが開発した電動歩行アシストカー「KeePace」、富士機械製造の移乗サポートロボット「Hug T1」など、さまざまな製品が開発・販売されています。産業用ロボットと並んで介護ロボットの開発も、日本が世界をリードしている状況といえそうです。

【次世代自立支援機器の市場規模予測】

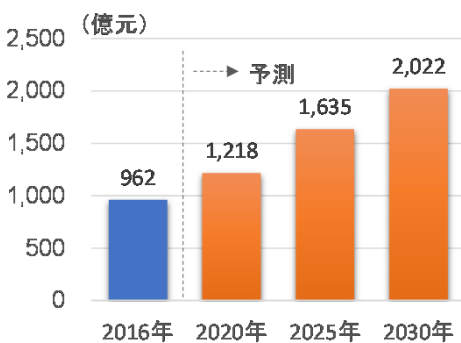


出所: シード・プランニング、プレスリリース、2017年8月17日「高齢者・障がい者の次世代自立支援機器 市場動向」の値を基に日興アセットマネジメントが作成 ※グラフ・データは予測であり、将来を約束するものではありません。

■ 世界でも高まる介護ロボット需要

欧州委員会の公開情報(14年調査)によれば、欧州では24年までに推定8,400万人の介護需要があり、国をあげて介護ロボットの普及に力を入れているスウェーデンの介護ロボット製造メーカー・Giraff Technologiesは、16年の介護ロボット関連の市場規模が、130億ユーロ(約1.7兆円*)に達すると予測しました。 *1ユーロ=135円

【中国の介護ロボット市場の成長予測】



出所: 西安交通大学「中国介護ロボットの市場需給と産業の発展」の値を基に日興アセットマネジメントが作成 ※グラフ・データは過去のものおよび予測であり、将来を約束するものではありません。

また、介護関連の巨大市場が生まれつつあるのが、20年に高齢者人口が2.5億人に達するとみられる中国です。政府による医療サービス改革「健康中国2030計画」の推進もあって、18年のAI(人工知能)医療・ヘルスケア産業の市場規模は、200億元(約3,400億円*)になると予測されています。また、介護ロボットの市場規模は、30年に2,022億元(約3.4兆円*)に達するとの見方(左図)もあり、一大市場になりそうです。 *1元=17円

中国企業も介護ロボットの開発を進めていますが、現状は高齢者の見守りやコミュニケーションを目的としたロボット以外には、目立った製品はないようです。こうした中、17年に安川電機の中国子会社と中国家電大手の美的集団が提携して、中国で介護ロボットの生産・販売に乗り出すことを発表するなど、日本の介護ロボットの技術や製品は、中国を含むアジアという巨大市場での需要が見込まれそうです。

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有、非保有、および将来の個別銘柄の組み入れまたは売却を示唆するものでもありません。

(当レポートは、株式会社ロボティアの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成しています。)

■当資料は、日興アセットマネジメントがロボティクスに関する情報についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。